

2019年3月5日（火）萩ヶ丘小学校 植樹体験

期 日：2019年3月5日（火）

場 所：ときがわ仁志の森

参加者：20名（萩ヶ丘小学校、生徒9名、先生2名、地主戸口様、会員8名）

報告者：辰尾俊明

前日まで雨が続けていた空模様でしたが、本日は久しぶりの晴天になり、さわやかな青空の下で毎年恒例となっている萩ヶ丘小学校4年生による植樹体験が行われました。

10時に参加者全員がデッキに集まり、高杉さんが11時半までの活動全体の流れを説明して、続いて黛会長の挨拶で「森は人間や動物にとって大切な役割を果たしています。本日皆さんが植樹するコナラの苗によって大切な森を作っていきましょう。」と、大きな写真を掲げながら4年生にも解り易く森の大切さをお話されました。その後、予め選定していた斜面上部の植樹場所まで移動して、先生も加わって2人ずつ5組に分かれ、会員の指導の下で植樹作業を始めました。



植樹作業は、雨上がりの斜面上で足元が悪かったにも関わらず順調に進み、当初10本の植樹を予定していましたが、予備の3本も含めて用意していた13本全てを、誰一人ケガをすることもなく無事に植樹することが出来ました。





植樹作業を終え下に降りて来て、引き続きウッドクラフト作りをしました。芳野さんに用意して頂いた丸いスライス木片に、学校から持参したカラーマジックを使って思い思いに絵や文字を書いてペンダントを作りました。ペンダントが早くできた生徒は樹木の銘板も作りました。



最後に黛会長がトチノキの冬芽を採ってきて実物に触ってもらい、ネバネバを実感してワ〜ッと驚きの声が上がりました。もう一つウバユリの朔も採ってきて種が風に舞う様子も見る事が出来、思いがけない体験もしました。その後、生徒から会員の皆さんに今日の植樹体験のお礼の挨拶が有り、学校へと戻って行きました。



生徒が帰った後、会員は手分けして植樹された苗木を保護する為のネット張りとして17日に予定している「キノコの駒打ち」の柵木作りを行いました。